



2020年3月24日

各 位

会社名 トピー工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 高松 信彦  
 (コード: 7231 東・名証第1部)  
 問合せ先 執行役員総務部長 立花 修一  
 (TEL 03-3493-0777)

通期連結業績予想の修正及び通期個別業績予想と前期実績値との差異  
 ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2019年11月1日に公表いたしました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の通期連結業績予想を下記の通り修正するとともに、通期個別業績予想について前期実績値との間に差異が生じる見込みとなりましたので、お知らせいたします。あわせて、1株当たり配当予想について修正することとしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 通期連結業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2019年11月1日発表)	270,000	6,500	7,000	4,500	191.53
今回修正予想 (B)	261,500	2,800	2,600	△3,200	△136.20
増減額 (B-A)	△8,500	△3,700	△4,400	△7,700	
増減率 (%)	△3.1%	△56.9%	△62.9%	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	286,227	7,505	9,357	7,114	302.85

## 修正の理由

世界経済の減速傾向が続く中で、需要の先行き懸念の強まりによる鉱山機械の一層の減産や、新型コロナウイルスの感染拡大等に伴う中国での油圧ショベル生産の急激な落ち込み等の影響が加わり、自動車・産業機械部品事業において、販売数量が想定を大幅に下回る見通しです。また、鉄鋼事業においても、国内鋼材需要が低調に推移し、販売数量及びメタルスプレッドが想定を下回る見通しです。このため、売上高、営業利益及び経常利益が前回公表した予想を下回る見通しとなりました。

加えて、株式市場全体の株価が下落した影響による投資有価証券評価損（約18億円）及び税効果会計に係る会計基準による繰延税金資産の取り崩し（約20億円）が見込まれ、親会社株主に帰属する当期純利益は△3,200百万円となる見通しです。

## 2. 通期個別業績予想と前期実績値との差異について

2020年3月期通期個別業績予想数値と前期実績値との差異（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A) (2019年3月期)	150,768	1,048	5,566	1,245	53.00
今回修正予想(B)	142,100	△900	700	△3,500	△148.95
増減額(B-A)	△8,668	△1,948	△4,866	△4,745	
増減率(%)	△5.7%	—	△87.4%	—	

### 差異の理由

通期個別業績予想については、前期と比較して、自動車・産業機械部品事業において、世界経済の減速の影響を受けて販売数量が大幅に減少する見通しです。加えて、投資有価証券評価損及び繰延税金資産の取り崩しが見込まれ、売上高142,100百万円、営業利益△900百万円、経常利益700百万円、当期純利益△3,500百万円となる見通しです。

## 3. 配当予想の修正について

	年 間 配 当 金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2019年11月1日発表)	—		—	20.00	60.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	40.00
当期実績	—	40.00	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	20.00	—	70.00	90.00

### 修正の理由

当社の利益配分に関する基本方針は、連結業績に応じた株主への利益還元と今後の事業展開及び企業体質強化に向けた内部留保の充実です。連結業績に応じた利益還元の指標は、連結配当性向30～35%を目安としております。

2020年3月期の期末配当金の予想につきましては、2020年3月期の通期連結業績予想及び連結配当性向等を踏まえて、誠に遺憾ながら見送る方針といたしました。

以 上